

1年生 検定受検と作品づくり 次々と新しいことに挑む

練習を重ねてきた手縫いとミシン縫い。6月18日(火)に技術検定被服製作4級を受検しました。35分以内のできるだけきれいに仕上げようと、全員が真剣に取り組みました。

また、中間考査後から製作してきたデニムバッグやアウターパンツも完成し、7月25日(木)には技術検定被服製作3級を受検します。制限時間内に、いかに美しい作品に作り上げることができるのか楽しみです。

「家庭総合」の授業では、ゴーグルや重りをつけて、高齢者の身体状況を疑似体験する学習もしました。



〈検定4級実技試験〉



〈高齢者疑似体験〉



2年生 スカートづくり 着付けの講習も無事終了

「ファッション造形」で製作していた裏付きスカートが6月末に完成し、スカートに合うコーディネートを考えて着装しました。2学期にはパネルラインのワンピース製作に入ります。

7月8日(月)には、外部から講師の先生2名を招いて、ゆかたの着付けを教えてくださいました。また、この講習では振袖の着付けのデモンストレーションをまじかで見ることができ、手際よく美しく進む着装に感動しました。

講座選択「ファッション造形基礎」の履修者は、7月13日(土)に被服製作洋服2級の実技試験に挑みました。筆記試験の成績と合わせて8月上旬に合否が決まります。



〈スカートの着装〉



〈着付け講習会〉



〈洋服2級実技試験〉

制作展実行委員会 始動

6月7日(金)に本年度第一回制作展実行委員会が開かれ、自己紹介の後、委員長等の役決めとポスター原画の選定を行いました。委員の多くが、自分たちができる最高の制作展にしたいという意気込みが感じられる意義のある会となりました。

夏休み中に案内状の発送や、深山公園の入り口に設置する看板作りに取り組む予定です。

制作展は10月5日(土)に深山公園で開催します。



〈3年生実行委員〉

3年生 いよいよ卒業制作の追い込みに突入

テクニカル類型、デザイン類型ともに1学期の授業を終えて、作品が少しずつ形になってきました。残りの作業も手縫いで進める部分も多く、気を遣う作業となります。進路のことと両立させながら、この暑い夏休みも毎週登校して、それぞれが思い描いた作品へと仕上げていく予定です。

7月10日(水)には、中国デザイン専門学校から先生と学生の方にお越しいただき、ウォーキングの指導をしていただきました。制作展をはじめとする作品発表の機会に生かせるよう、みんな熱心に受講しました。

「課題研究」で被服検定の講座を選択している人が、7月20日(土)に、被服製作和服1級の実技試験を受検しました。ゆかたの半身を4時間で製作しますが、手縫いでいかに時間短縮ができるかが可否の決め手です。努力の成果が報われる結果となるといいですね。



〈ファッション造形の授業〉



〈ウォーキング講習会〉



〈和服1級実技試験〉

コンテストの審査結果届く

神戸ファッション専門学校主催の「第22回全国高校生デザイン画コンクール」の審査結果が届きました。全体の2位に相当する「神戸ファッション協会賞」に3年生の福井紅瑠実さん、優秀賞に2年生の清水藍さん、また2年生の芦田さん、岩尾さん、森さんの3名の作品が入賞しました。

2年連続出場を果たした「全国ファッションデザインコンテスト」(通称「ファッション甲子園」)は、残念ながら出場を逃しました。来年度に期待しましょう。



〈清水さん〉



〈福井さん〉

イメージを膨らませながらコツコツと頑張っています

